

エンパワーするNGO



京都 YWCA

3
2026

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

平和を考える「2.11 集会」今こそ9条を抱きしめて！

2025年、京都YWCAでは戦後80年を覚えていくつかのプログラムが実施されました。その締めくくりとして、2.11集会ではドキュメンタリー映画『アレン・ネルソン 9条を抱きしめて～元米海兵隊員が語る戦争の真実～』を上映し、アレン・ネルソン平和プロジェクト共同代表の山口良子さんから、作成の経緯や今後の自主上映についてのアピールをお聞きしました。

ネルソンさんの活動のきっかけ

ネルソンさんは1947年ニューヨークのブルックリンに生まれ、母と姉妹とともに貧しさと差別の中で生活し、喧嘩にあけくれ希望もなく成長しました。18歳の時、「海兵隊に入ると生活に困ることがない」とリクルートされ入隊。ベトナム戦争での凄惨な体験の中で、ベトナム人少女が出産する場に偶然出くわし「いのち」の大切さに目を開かれます。帰還後激しいPTSD（心的外傷後ストレス障害）となり、そこから抜け出すまでに18年にも及ぶ治療生活を送りました。苦しんでいる時、教師をしていた幼馴染に小学校で戦争体験を語ってほしいと頼まれます。ベトナムでの当たり障りのない経験を話し続けていたネルソンさんですが、最後の子どもの質問、「あなたは人を殺しましたか」に虚を突かれて戸惑い、混乱し、でもとうとう「殺した…」とつぶやくと、子どもたちが一斉に「かわいそうなネルソンさん！」と泣きながら駆け寄ってきたのです。自分のために泣いてくれる人がいることは、ネルソンさんの心を強く揺さぶりました。

沖縄での米兵による少女暴行事件で初めて沖縄の米軍基地のことを知り、1996年から日本全土で戦争の恐ろしさを、



山口良子さんのお話
平和への願いが強くなりました

とくに子どもたちに伝える講演活動を開始されました。

憲法9条という希望

その後日本国憲法第9条に出会い、日本の子どもたちの顔の輝きは、「戦争をしない」という9条の力であると確信し、そこに平和への希望を見出します。

今世界では多くの国や地域で何万という人々が理不尽に家族や家を失い、いのちを落としています。強国の政治家の不正義を伝えようとするジャーナリストが捕えられ、拷問を受け殺されています。攻撃的な言葉がSNSで拡散され、恐怖に苦しみながら生活している外国籍の人々がいます。

戦争や暴力が許されない世界にするために、わたしたちができることは何でしょうか。上映後、参加者からは、戦争が始まる前にその恐ろしさを平場で伝えたい、巧妙に戦争へと先導される歴史を学んで流されてしまわないように、自分の立つところを強固にしたい、国の行う教育の怖さに抗いたいなどの感想がありました。

危うさをはらんでいる今の日本を新たな戦前にしないために、「平和への道はない。平和こそが道なのです」「憲法9条はいかなる核兵器やいかなる国の軍隊よりも強力です」「世界平和はここから、この部屋から、わたしたち一人ひとりから始まるのです」というネルソンさんの力強い言葉を心に刻みたいと思います。

国として「戦争をしない」と決めている9条は、人間の理性と崇高さが具現化されたものであり、他国の人々にとっても大きな希望であることをネルソンさんは教えてくれています。

(篠田 茜)

YMCA・YWCA 合同祈禱週集会 2025

～祈りと行動の150年～ JUBILEE 150YEARS OF PRAYER IN ACTION

世界 YMCA・YWCA は、毎年 11 月の第 2 週を「合同祈禱週」と定め、世界中の仲間と共に祈りの時を過ごしてきました。今年度の祈禱週は YMCA・YWCA の祈りと奉仕の歩みが始まって 150 年という節目の年にあたります。この記念の年にあたり、京都 YMCA と京都 YWCA は共に学び語り合う集いを、11 月 29 日（土）日本基督教団室町教会で行いました。

カンボジアで「売られる子どもをなくしたい」と願い、たった一人で行動を始めた男性の姿を追ったドキュメンタリー映画『OKA は手ぶらでやって来る』を上映。この映画を視聴した後、「平和」「ボランティア」「国際協力」そして「私たちがともにできること」についてグループ討議をしました。以下のような多くの思いや意見が討議され共有されました。

- ・ボランティアって簡単そうで実は難しい。まずは自分にできることを考え、種を播き続けることが大切だと思う。
- ・後に続く人がいること。それには年月がかかるが、広がりもできる。

- ・OKA が一人でやってこられた情熱のすごさを感じた。組織ではできないことを成し遂げられた。
- ・戦争は悲劇を生む。平和あってこそであり、平和を求めていきたい。「魚を釣りあげるのではなくて、釣りの仕方を教えること」。誰かを支援する際に、個人としても組織としても胸に刻んでおかななくてはならない。

最後に室町教会の浅野献一牧師より「祈り＝アクションとしての意義」についてお話いただき、会を閉じました。150 年の祈りの歩みを共有し、参加者一人ひとりが自らの祈りと行動を振り返る機会であったと同時に、社会や自分たちが活動する組織に、新たな希望の道を見出すひとときとなりました。

（三木 みや子）



映画上映後のグループ討議

シェアカフェ（委託）店長募集中です！

京都 YWCA にある「うららかふえ」は、さまざまな背景を持つ人が交流できる場を目指しています。来られる方は、ランチやお茶を楽しむ人、針仕事などを楽しむ「ちくちくかふえ」、喫茶とおしゃべりを楽しむ Chatting Café、きものリフォームなどに参加される方、ヴォーリズ建築がお好きな方、たまたま通りがかった方…とさまざま。ゆったりと落ち着いて、楽しく賑やかに、など日によって雰囲気は変わります。

ランチ提供は会員、ボランティア、就労体験の若者、時に留学生。そして、「シェアカフェ（委託）」という形で、外部の方にもご参加いただけます。最近耳にするようになったシェアカフェは店舗の空き時間を間借りして営業するというもの。「うららかふえ」はほかの場と比べて気軽に始めやすい仕組みで、「楽しみながらできる」「ほっとした空間でやっていけそう」などのお声をいただいています。



うららかふえがある「サマリア館」はヴォーリズ建築の洋館です

このたびシェアカフェ

（委託）利用を始める方より、下記のメッセージをいただきました。

シェアカフェ新人です！

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ建築のシンプルで素敵な落ち着いた建物のカフェ空間で、月 1 回程度 20 食くらいのランチとお茶・お菓子を始めたいと企んでいます。

その昔、映画『かもめ食堂』を見て、どこで働いてもいいやんな、身の丈にあった事をしたいなと思い、少し憧れをもって「ハシビロ食堂（仮）」と名付けて始めます。お家メニューですが、ゆっくりランチを楽しんでいただけたらと思います。おひとりさまやお友達と、読書やお勉強もできる場を創っていきます。どうぞよろしくをお願いします。

将来お店をやってみたい、お料理・お菓子作りが好き、趣のある洋館で何かしたいなど、関心のある方は試してみませんか？詳しくは右の二次元コードよりお問い合わせください。

（ふれあいの居場所事業部委員会）



シリーズ

京都YWCA 自立援助ホーム「カルーナ」10年の歩み(4)(最終)



恒例のホームカミングパーティー「新年会」

1月10日(土)に新年会を開催しました。一人暮らしをしている人、他の施設に移った人、遠方でパートナーと暮らす人など、合計11名の入居者と退所者が集いました。

新年会は2016年に20歳の利用者をお祝いするために行われました。今年も京都わかさねっこの皆様のご協力により、20歳の退所者1名と18歳の入居者2名を含む希望者が晴れ着に身を包み、嬉しくも少し照れくさそうな笑顔を見せてくれました。

みんなのお楽しみである立食パーティーまでは、保育園の園庭で外遊びをして過ごします。寒さに負けずおにごっこや花いちもんめを楽しむ声がYWCA内に響きました。立食パーティーには「NHK 歳末たすけあい助成」からの補助を利用した豪華な食事や、支援者の方からいただいたデザートが並びました。ある若者は早めに着物を脱いで「よし!これでもっと食べられる!」とおかわりをしていました。

過去、現在、未来を一生懸命に生きている若者たち

パーティーの最後は「今年の抱負宣言」です。毎年この時間になると恥ずかしさからか姿を消す若者がいるのですが、今年は全員が自分の抱負をじっくり考え、紙に記していました。体調のこと、仕事のこと、人間関係のこと、将来の夢のことなど内容はさまざまですが、その全てに共通

していたのは、彼女たちがこれまでの人生を一生懸命に生き、未来を前向きに生きていたいと思っていることでした。園庭ではしゃぎ、ご飯を嬉しそうに頬張る姿からは想像しがたいですが、彼女たちはあらゆるものと闘いながら毎日を生き抜いているのだと改めて感じました。

カルーナは4月で11年目を迎えます。開設当初に比べ入居年齢が大きく下がり、今では入居者のほとんどが高校生です。多くの入居者が高校卒業とともにカルーナを退所し、18歳で一人暮らしを始めます。彼女たちが未来を少しでも明るく過ごし、「生まれてきてよかった」と思う瞬間を積み重ねていけるように丁寧に関わり、退所後も見守りを続けていきたいです。これまでカルーナにお心を寄せてくださった全ての方に感謝申し上げます。

(古川 由布子)



晴れ着で近所を散策しました



豪華な立食パーティーご寄付に感謝です



一人ひとりが今年の抱負を発表しました

小学生の居場所プログラム ガジュマルの樹 ～遊びを通して持続可能な地球環境を考える～

京都YWCAでは体験や遊びを通して子どもたちが自分らしく学び、仲間と楽しく過ごす「ガジュマルの樹」を開催しています。12月27日には、元気いっぱいの小学生12人が集まりました。今回は午前中に、ダンボールおもちゃ創作作家の増馬英樹さんと「イカ飛行機」を作りました。廃材も工夫により再生できることを、工作活動を通じて学びました。完成したイカ飛行機は大人気!子どもたちは飽きることなく飛ばし合っていました。

午後はサステナブルアカデミーの岡崎真弓さんと海のごみ問題について学ぶカードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」を「2050年CO2ゼロどこでもトーク」(*)の活動として実施しました。「農家」「漁師」「役所の人

などの立場で海洋ゴミを減らせるかにチャレンジし、思うような効果が出ずがっかりしたり、市民意識の高まりに喜んだりしながら、地球環境を守るにはさまざまな要素が必要であることを体感する時間となりました。

(親・子育て支援活動委員会)

*「2050CO2ゼロどこでもトーク」は京都市のエコ学区事業として実施されているものです。



自分の選択が社会を変える経験



京都 YWCA の事業・活動へのご支援のお願い

京都 YWCA は女性をエンパワーし、多様な人々がふれあう「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」を進めています。これをさらに持続的・発展的に進めるために、ご支援をお願い申し上げます。
ご寄付は事務所窓口にて、あるいは郵便振替やオンラインをご利用いただけます。



郵便振替 01080 - 9 - 1566

加入者名 公益財団法人京都 YWCA

オンラインでのご寄付はこちらから

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

活動を指定したご寄付等の詳細は事務所に問い合わせさせていただくか、ホームページをご覧ください。
<http://kyoto.ywca.or.jp/support>



今後のプログラム

◎京都YWCA 第104回定期会員集会

- 日 時：3月14日(土) 10:00～15:30
- 場 所：京都 YWCA あじさい保育園ホールおよびオンライン
- 主 催：京都 YWCA ミッション推進活動部門運営委員会

◎小学生の居場所プログラム「ガジュマルの樹」

春休みの一日を自分らしくのびのび、楽しく過ごしませんか？

- 日 時：3月26日(木) 9:30～16:30 ※前後に延長保育利用可
- 場 所：京都 YWCA 本館
- 対 象：小学1年生～6年生(定員20名)
- 内 容：①MYピザを焼こう! ②ミニらいとモルック体験
- 参加費：2,800円(昼食、おやつ、材料費、保険料含む)
- 申 込：3月18日(水)までに事務所にご連絡ください

◎世界YWCAデー「世界につながるYWCA」

- 日 時：4月25日(土) 13:30～15:30
- 場 所：京都 YWCA、大阪 YWCA、オンライン
- 対 象：どなたでもご参加ください
- 参加費：無料
- 主 催：京都 YWCA・大阪 YWCA 運営委員会

ご協力ありがとうございました

2025年12月1日から2026年1月31日までの寄付者一覧(敬称略、順不同)

各指定寄付

*法人支援

筒井奈都子、寺田有古、大橋茉莉耶、小林聡、篠田茜、瀬口尚子、一色光世、同志社女子高等学校、匿名2名

*APT

北山英太、ヘイナ啓子、安藤いづみ、同志社中学校、藤原久子、マーサ・メンセンディーク、上内英子、岡佑里子、ヌヴェール愛徳修道会、吉本和穂、田中康可、森田正樹、リンパヤラヤ・スプラニー、株式会社銀の鈴社、高山亨、朴実、匿名3名

*活動グループ

手話サークル

*多文化共生委員会

日本キリスト教団室町教会 CS、平安女学院高等学校ミルトスコース、岡佑里子、織田雪江

*親・子育て支援活動委員会

有田佳子、親子ライブラリー

*平和・環境活動委員会

平安女学院高等学校ミルトスコース

*ふれあいの「居場所」事業部委員会

若者就労支援まかない募金、小林聡、篠田茜、河野伴子

*自立援助ホーム「カルーナ」

小宮一子、斉藤洋子、平野富希、榎本愛美、平安女学院中学高等学校宗教センター、河野伴子、岡佑里子、小林聡、篠田茜、日本聖公会京都教区、横江美佐子、児玉涼子、澤井聡子、井上里佳、高山亨、中野かおり、上田理恵子、小泉小枝、伊東真喜子、斉藤直美、日本キリスト教団京北教会、日本基督教団京都上賀茂教会、鶴崎祥子、伊藤眞一郎、匿名4名

*子ども・若者の居場所 Yここ Kitchen

小宮一子、大槻裕樹、齊藤大輔、平野富希、井上里佳、高山亨、村松通子、斉藤直美

*多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり

神門佐千子、鳥居尚子、京都シオンキリスト教会 朴志娟、山本千鶴、山本知恵、室紀子、井上依子、神岡茂子、安藤いづみ、山高万寿子、中村美智子、上村愈巳子、平野富希、伊原千晶、ベスタロッツ保育園

*会館補修積立

山本千鶴、山本知恵、別所加恵、室紀子、神岡茂子、安藤いづみ、山高万寿子、上村愈巳子、青野美佐江、平野富希、匿名1名

*賛助費

吉原順子、大和田暢子、小島明子

おススメです!
ブータン映画『お坊さまと鉄砲』
(監督・脚本パオ・チョニン・ドルジ)

ブータンでは長年王政が敷かれ、国王も国民に愛されてきたが、2006年、民主化すべく国王が自ら退位することを決めた。指導者を選ぶ選挙を実施するために、まずは模擬選挙が行なわれることになった。山に囲まれた小さなウラという村では、それによってそれまで存在しなかった混乱や対立が生まれ、村人は戸惑う。それを見た高僧は、なぜか「ものごとを正す」ために、法要で銃が必要と弟子に銃を求めするように指示する。そこにアメリカ人の、密輸入も厭わない銃コレクターとそのガイドも絡んできて…。さて、銃は一体なんのために?

意外な微笑ましい得心の結末とともに、民主主義や幸せなど、私たちの価値観を問われた気がする。



**環境や身体に安全な洗剤で
エアコンをクリーニングします。**

ご注文・ご相談 LINE ID @983arypw

①右のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取る

②お友達登録をする

③メッセージを送る



Instagramでもお知らせを配信しております!
アカウント yotsuba.clean.service

Instagramでもお知らせを配信しております!

アカウント yotsuba.clean.service



お気軽にお問合せください。

**《関西よつ葉連絡会》
機よつ葉クリーンサービス**

1・2月/理事会報告

- 1/5: Yここ Kitchen「お餅を楽しむ会」を開催
- 1/10: 自立援助ホーム「カルーナ」新年会開催(本紙P3参照)
- 1/17: 理事、運営委員を中心に今後の会員活動や事業について話し合う場を持った。
- 1/24: 第2次予算案の承認、中期計画について協議した。

- 2/11: 2.11集会として「アレン・ネルソン 9条を抱きしめて」の上映会を開催(本誌P1参照)
- 2/21: 「ピーター・バラカンDJライブ#14～世界の音楽 à la carte～」を日本聖公会聖アグネス教会にて開催
- 1月～2月: あじさい保育園で保護者懇談会と乳児保育参観を実施

KYOTO YWCA No.591 2026年3月号(3月1日発行)

発行人: 山中あかね

発行所: 公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上上近衛町44

電話: (075)431-0351

FAX: (075)431-0352

e-mail: office@kyoto.ywca.or.jp

HP: http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替: 01080-9-1566

口座名義: (公財)京都 YWCA

定価: 1部50円

発行: 奇数月1日発行